

議員名	主な質問項目	掲載頁
久保田吉光	学校給食の公会計化、学校給食の地産地消	4
尾藤 正弘	防犯カメラ補助制度創設、商店街の屋外照明灯、入札制度	4
霞 恵介	沼津の教育、高齢者の自動車運転	5
渡部一二実	鉄道高架事業の進捗状況と税控除、県収用委員会の流れと審理	5
渡邊 博夫	教育長の所信、学校の暑さ対策、交通安全対策、交通安全教育	5
小澤 隆	学校教育に対する考え方	5
井原三千雄	観光まちづくり、中心市街地、北部地域、70 歳現役社会	6
江本 浩二	新中間処理施設の地元合意	6
山下富美子	保育の適正な運用の確保、兄弟が同じ園に入所不可、本市の責務	6
片岡 章一	多胎児支援、妊婦健診の助成、育児サポーター制度、骨髄バンク	6
小泉 宣子	給食費の無償化、地産地消	7
梅沢 弘	国の借金 1,100 兆円、高架事業負担金 614 億円	7
平野 謙	社会的孤立に対する支援、多様な教育機会の確保	7
原 信也	安価で便利な公共交通	7
岡田 進一	国民健康保険	8
川口 三男	人口減少、子供・子育て支援策	8

※議員名の下に**形式**として質問形式を記載しています。

一 括：通告した全ての内容を一括して質問した後、市当局が一括して答弁する方式

一問一答：議員からの一つ一つの質問ごとに、市当局が答弁する方式

複 合：1 回目は一括で行い、2 回目以降から一問一答に切り替えて行う方式

全ての質問項目

(通告一覧)はこちら▶



市政について 問う！

第一回（六月）定例会では、十六人の議員が市政について質問しました。

一般質問

街頭防犯カメラの設置費に対する補助制度の創設は

問 平成三十年度総務委員会所管事務調査において、道路等の公共空間を撮影する街頭防犯カメラは、地域の防犯活動を補完し、安全で安心な暮らしを確保するための手段の一つとして、犯罪抑止効果が期待でき、また、犯罪が発生した際には、証拠として事件の早期解決に貢献することが期待できるものであるとの内容が報告されたが、自治会等を対象とした街頭防犯カメラの設置費等の補助制度を創設する考えは。

答 企画部長 街頭防犯カメラについては、連合自治会等から設置を望む声が多く寄せられている一方で、

カメラの設置場所や記録したデータの管理、使用する機器等の選定について懸念の声も寄せられており、設置の際には、具体的なルールを定める必要があるものと考えている。そのため、これらの課題について、今後、地域住民との意見交換を行いながら、補助制度を含め、地域の安全に資する防犯カメラの設置のあり方について検討を進めていく。



▲地域の安全・安心を補完する街頭防犯カメラ

尾藤 正弘 形式 一括

学校給食における地産地消の取り組みは

問 学校給食に地元食材を積極的に取り入れることは、地域の伝統食文化の継承、地域の農業や食への理解により、郷土愛の醸成、学校給食の教育力を高めることにつながるものと考えて、本市の学校給食における地産地消の取り組みは。

答 教育次長 本市では、年間の献立原案を前年度中に作成し、この献立原案をもとに実際に使用する献立を決めているが、使用時期に調達できる食材により献立原案とは内容が変わることが課題となっている。そのため、地産地消の推進を図る上では、年間の献立原案だけではなく、

実際の給食実施日単位での食材の使用量等の情報共有が有効であると認識している。今後とも、生産者や卸売市場、小売業者、栄養職員等で構成される沼津市学校給食地場農産物関係者会議を通じた献立情報の共有を初め、関係者間の情報共有を積極的に進め、連携強化を図ることで、学校給食における地産地消に取り組んでいきたいと考えている。



▲地場産品を使用した給食メニュー

久保田 吉光 形式 一括